

熊本県立豊野少年自然の家 指定管理者 令和元年度(2019年度)  
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在：宇城市豊野町山崎1775</p> <p>② 施設：宿泊棟、プレイホール、キャンプ場等</p> <p>③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	302,932,000円（4施設合計、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	27,393人	32,138人	前年度実績 34,852人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

新型コロナウイルスの影響で2月末から休館し、前年度実績から2,714人の減少となったが、例年の3月の利用状況からみると例年以上の利用者数の獲得が見込まれた年度であった。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組みを期待する。

## 2 管理業務実施状況

### ① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	自家用電気工作物点検	月1回	専門業者に委託
	昇降機設備保守点検	月1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	地下タンク保守点検	年1回	同上
	ボイラー保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	水質検査	年2回	専門業者に委託
	浄化槽保守点検	月4回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	アスレチック設備点検	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

## ② 運営事業実績

### 【主な事業・イベント】

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
げんキッズキャンプ（全2回）	5, 10月	60人	様々な体験活動を通して仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
森のようちえんもくもく（全6回）	5～2月	202人	田畑で土に触れる、季節の食材を食すなど様々な自然体験活動や地域の方々との交流を通して、保護者と一緒に乳幼児期の子ども達の豊かな感覚や感性を引き出し、育てる。
キャンプで子育て！Nature Family Land（全3回）	6～9月	94人	キャンプ活動を通して家族の親睦を深めるとともに、キャンプスキルと楽しさを学ぶ。また、自然に触れることで子どもたちの感受性や自主性を育む。
GO！GO！自然体験隊	7/20, 21	19人	様々な体験活動を通して仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
とよドン家パーク（夏、秋、冬各1回）	7, 11, 1月	683人	自然の家に気軽に足を運んでもらい、施設を身近に感じてもらうことにより、自然の中でのびのびと活動する場所、機会を提供する。
北風チャレンジCUP	1/25, 26	20人	様々な体験活動を通して仲間と協力する大切さを学ぶとともに、何事にも積極的にチャレンジする心を育てる。
通学合宿（全2回）	2月	40人	共同生活体験を通して、日頃当然と捉えている日常への感謝の気持ちを醸成するとともに、自立心を育む。また避難所とし仮定した自然の家から通学することを通して、防災意識を高めるとともに、災害時に家族や地域の中で積極的に活動できる人材を育成する。

#### 【点検・調査結果及び評価】

前年度から企画事業の整理・統合を行うことで、事業間の繋がりを意識した事業計画を実施することができている。ほとんどの事業で、募集定員を超える応募がっており利用者のニーズにマッチした企画事業を行っている。定員に対してして申し込みが多い講座については定員を増やしたり、開催回数を増やすなど、利用者の要望にできる限り応える体制をとることを期待する。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	320 日	348 日	92.0%
	宿泊可能日数	317 日	342 日	92.7%
	利用日数	257 日	269 日	95.5%
	利用率	80.3%	77.3%	103.9%
	利用者実数	9,842 人	10,934 人	90.0%
	利用者延べ数	21,057 人	20,449 人	103.0%
キャンプ場	開館日数	320 日	348 日	92.0%
	宿泊可能日数	317 日	342 日	92.7%
	利用日数	16 日	19 日	84.2%
	利用率	5.0%	5.5%	90.9%
	利用者実数	184 人	220 人	83.6%
	利用者延べ数	376 人	482 人	78.0%
出前講座等	利用者実数	10,705 人	13,921 人	76.9%
【点検・調査結果及び評価】				
<p>小中学校の集団宿泊教室の利用者が土日に重なっていたこともあり、出前講座を大幅に制限して受入を行った影響で、出前講座の利用者実数が前年度から減少した。今後は新型コロナウイルスの影響で利用状況の管理が難しくなるが、広報・営業に取り組み利用者獲得へ繋げてほしい。</p>				

### 4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目		内訳	金額 (円)
利用料金収入	本館	一般 1,719 人、高校生以下 8,770 人、就学前の者 168 人	3,454,740
	キャンプ場	一般 16 人、高校生以下 68 人、就学前の者 1 人	11,760
	宿泊を伴わない利用	一般 682 人、高校生以下 529 人、就学前の者 135 人	94,650
指定管理料		指定管理者による本施設への振り分け	59,544,000
企画事業等収入		14 事業	795,820
その他活動収入		出前講座 146 団体	391,950
プログラム活動料金			506,950
食事代			16,090,930
シーツ等クリーニング代			984,435
雑収入			130,686
合計			82,005,921
		収入未済額	0
		うち利用料金収入分	—

② 支出		
項目	内訳	金額（円）
人件費		45,078,275
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	9,712,077
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	25,151,152
企画事業費		411,179
合計		80,352,683

**【点検・調査結果及び評価】**  
 利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。

## 5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成31年4月1日～令和2年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	170 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	125	73.5	41	24.1	2	1.2	0	0	0	0	2	1.2
	活動内容	98	57.6	32	18.8	13	7.6	2	1.2	0	0	25	14.7
	職員の受入れ対応	138	81.2	25	14.7	5	2.9	2	1.2	0	0	0	0
	職員の指導・助言	136	80.0	22	12.9	7	4.1	2	1.2	0	1.0	3	1.8
	食堂スタッフの対応	105	61.8	29	17.1	6	3.5	1	0.6	0	0	29	17.1
	食事の質	89	52.4	47	27.6	10	5.9	0	0	0	0	24	14.1
	食事の量	85	50.0	50	29.4	10	5.9	1	0.6	0	0	24	14.1
	屋内の施設・環境	109	64.1	39	22.9	18	10.6	0	0	0	0	4	2.4
	屋外の施設・環境	91	53.5	45	26.5	15	8.8	3	1.8	1	0.6	15	8.8
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
	115	67.6			54	31.8			0	0	1	0.6	
利用者からの意見等													
<b>【点検・調査結果及び評価】</b>		施設としては「非常によい」「よい」を9割以上獲得することを目指しており、今回、全項目で達成できた。特に食事に関する項目（食事の質・量）については、これまでメニューの改善に努めてきたことで、前年度と比較すると評価が大幅に上昇していることは評価できる。											

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
アスレチックがもっとできるといい	社会教育課と危険なアスレチック設備の廃棄・交換について協議中
スズメバチが非常に多く、外での活動があまりできなかった	敷地内については、蜂取りの仕掛けをこまめに確認・交換した。コース付近にあるハチの巣については業者による撤去を行った。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 意見・苦情等に対して速やかに改善に着手している。アスレチック施設については、指定管理者の報告を元に、県で整備を進めていく。	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
利用者アンケートの自由記述欄や活動中の利用者の声などから利用者のニーズをくみ取り、サービスレベルの向上を図ってほしい。	夏場のエアコン使用や冬場の風呂場の寒さ対策について意見があったが、気温や活動内容に応じて柔軟に対応した。 職員のサービスの質については、接遇や利用者対応の研修を行い質の向上に努めた。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 指摘事項に対する対応・取組みは評価できる。 職員研修については、課題に対して適宜外部講師を招聘するなど充実した研修を行っている。	

## 8 その他

引き続きアンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。
--